

# 絶縁アンプ

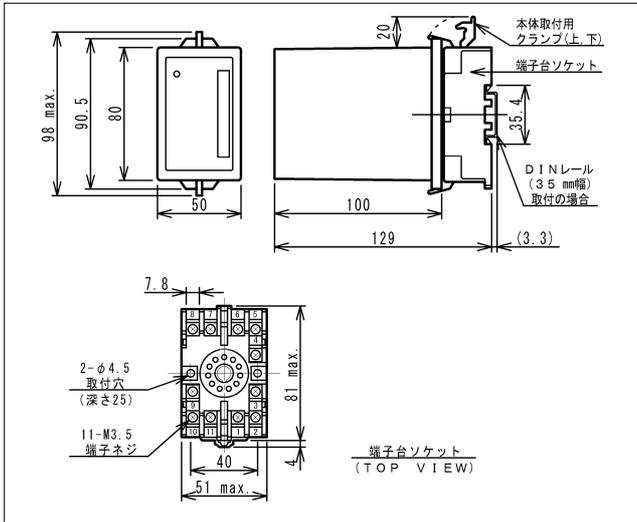
# RMM Series



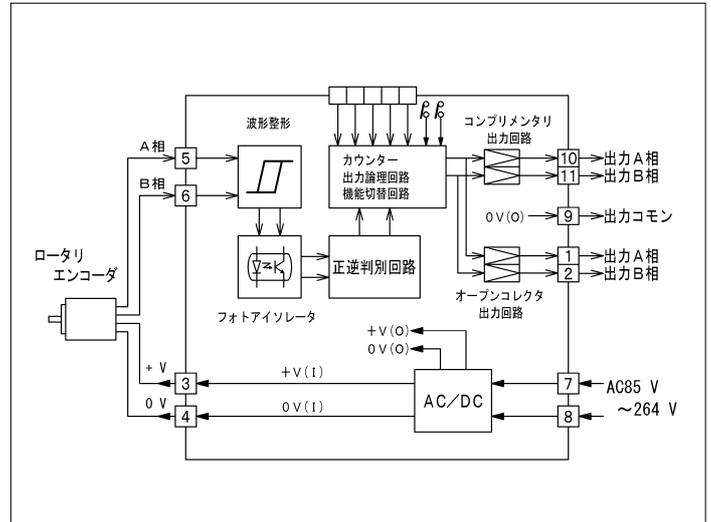
## 型式の説明

型式	入力信号仕様	出力信号仕様	検出器電源
RMM-12EFC	電圧パルス	12 F 出力と24 C 出力の同時2出力	12 V
RMM-12CFC	オープンコレクタ	12 F 出力と24 C 出力の同時2出力	12 V

## 外形図

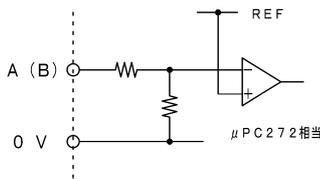


## ブロック図

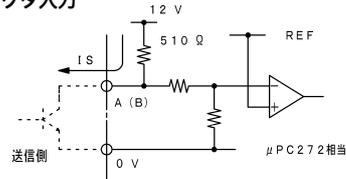


## 入力回路

### 電圧パルス入力

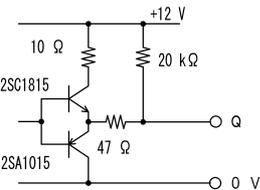


### オープンコレクタ入力

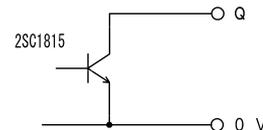


## 出力回路

### コンプリメンタリ出力

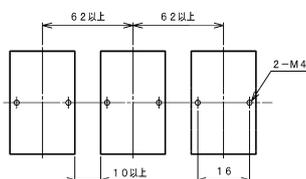


### オープンコレクタ出力

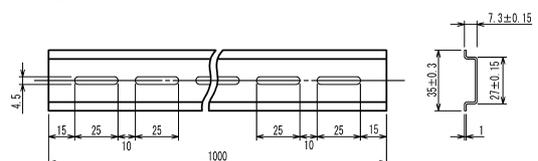


## 取付

### 直接取付



### DINレールを使う場合



## 仕様

項目/型式	RMM-12EFC	RMM-12CFC
入力最高周波数	100 kHz パルス幅 5 μsec以上 (波形比1:1にて)	
入出力信号間の絶縁	フォトカプラによる	
入力抵抗	約10 k	シンク電流 24 mA (プルアップ抵抗510 )
入力信号レベル	L = -5 ~ +2 V H = +5 ~ +20 V	L = +2 V以下
設定範囲	00.001 ~ 99.999 % 10進5桁ロータリコードスイッチにて設定	
入力信号切替	90度位相差2信号入力と1信号入力の2種類をディップスイッチにて切替	
タイムチャート	<p>タイムチャート</p> <p>入力信号 A相 入力信号 B相</p> <p>設定値に対する出力パルス</p> <p>A相出力 B相出力</p> <p>0 設定 1 設定 2 設定 3 設定 4 設定 5 設定 6 設定 7 設定 8 設定 9 設定</p> <p>→ A相進み位相の場合 (CW) ← B相進み位相の場合 (CCW)</p>	
出力信号の種類	12 F 出力と24 C 出力の同時2出力	
入出力信号の遅れ時間	立上時間、立下時間共に2.5 μsec以下 (負荷抵抗500 時)	
出力信号の立上時間、立下時間	12F出力: 立上時間、立下時間共に1 μsec以下	
出力信号レベル	12F出力: H = 9 V以上 L = 1.5 V以下 (負荷抵抗500 ) 24F出力: L = 1 V以下( DC30 V 25 mA時)	
出力抵抗	12F出力: 75 最小負荷抵抗: 500 24F出力: 最大定格 DC30 V 25 mA	
検出器電源	DC12 V ±5 % 150 mA	
供給電源	AC85 ~ 264 V 50 / 60 Hz 15 VA max.	
耐ノイズマージン	IEC801-4 LEVEL3 (電源ラインノイズ2000 V 入出力信号線誘導ラインノイズ1000 V)	
絶縁抵抗	DC500 Vメガ 100 M 以上	
絶縁耐圧	AC2000 V 1分間異常無きこと	
使用温度範囲	-10 ~ +50	
使用湿度範囲	35 ~ 85 %RH (但し、結露なきこと)	
保存温度	-10 ~ +60 (但し、氷結なきこと)	
質量	約0.2 kg (但し、付属ソケットは含まず)	

## 使用上の注意

- 入出力信号の配線は、必ずツイストペアシールドケーブルを使用し、シールド線は本器設置の制御盤等のアースに接続して下さい。誤動作の原因になります。
- 供給電源は、仕様電源範囲の電圧を良く確認の上、端子番号7 8に供給して下さい。範囲外の電圧を供給しますと、故障の恐れがあります。
- 供給電源にサージやノイズが乗っている場合は、サージ吸収素子やノイズフィルタを本器の近くに設置し接続して下さい。
- 接続は必ず端子結線図に従って結線を行って下さい。誤動作故障の原因になります。
- 本装置をモータや溶接器等ノイズを多く発生させる機器や、動力線、多量の静電気が発生する機械等からは、できる限り離れた場所に設置して下さい。
- 入出力信号の配線は電源ラインや他の高圧線と同一ダクト内の敷設や平行に配線を行わないで下さい。誤動作の原因になります。必ず別ルート又は、30 cm以上離して配線を行って下さい。
- 本器付属のソケットの端子ネジ締め付けの際には、過度の締め付け(適正締め付けトルク0.92 N・m)をしない下さい。
- 結線終了後、間違いなく確実に結線されていること(ネジのゆるみや誤配線)を確認して下さい。

注意事項 記載の仕様は、予告なしに変更されることがあります